

# 「貝殻アート」の指導手順

## 準備物一覧

### ★交流の家準備物

- ①色紙 or 写真立て or 鏡【人数分】      ②貝殻10種類【人数分】      ③ポンド【人数分】
- ④白い皿【班数×10】      ⑤大きいボール【10個】      ⑥見本【必要数】
- ⑦指導手順・説明用資料【各1部】      ⑧ゴミ袋【必要数】
- ⑩ドライバー（鏡のとき）【5本】

### ★団体準備物

新聞紙、マジック、色鉛筆 等

＜貝殻の量の目安＞

品名	グラム (約10人分)	枚数 (約10人分)	枚数・個数 (1人分)	貝見本
サクラ貝	8	130	13	
サラサバイ	24	150	15	
ビーチシェル	80	40	4	
キイロ宝贝	100	60	6	
カノコ貝(ヒメ)	30	150	15	
ハナビラ宝贝	70	60	6	
オレンヂタマキビ	25	100	10	
カニノテムシロ	24	50	5	
ムギ貝	40	150	15	
キサゴ	22	150	15	

## 指導内容

### 0. 会場を準備する



- ①6人ずつの班に分かれ、机・椅子を向かい合わせにする。
- ②新聞紙を机の上にひき、机が汚れないようにする。
- ③説明用資料をホワイトボードにはる。

### 1. 道具を机の上に準備する



- ①白い皿に貝殻を種類別に入れ、各机に分ける。
- ②ポンドを2人に1個ぐらい置く。
- ③人数分の色紙（もしくは写真立てや鏡）を配る。

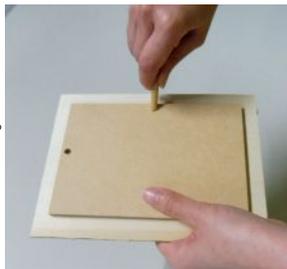
### 注意

- ・種類の違う貝殻は、絶対に混ぜない。

【写真立て】※写真立てを作る場合に掲示してください。

## 1-2. 裏に棒を差し込む

- ①縦置きか横置きかを決めます。
- ②棒を穴に差し込み、穴を少し大きくします。
- ③差し込めたら、表に貝殻を張り付けるので、一度抜きます。



- ①裏の穴に棒をさしこむ。（裏の穴が小さく、棒が入りにくくなっており、貝殻を張り付けた後だと棒をさしこめないのです）
- ②棒を差し込んだままだと、貝殻を貼れないので、一度ぬく。（貝殻を張り付け後、再度棒をさしこむ。）

### 注意

- ・横向きの場合は、上下を間違えないようにする。

【鏡】※鏡を作る場合に掲示してください。

## 1-2. 裏に金具とひもをつける

（貝殻を張り付けた後だと、金具などを付けられないので、先につける。）



ものさしを使い、両端から2cmのところに印をつけます

ドライバーで金具をつけます ひもとおして、結びます

- ①ものさしを使い、両端から2cmのところに印をつける。
- ②印の場所にドライバーを使って、金具をつける。
- ③ひもを通して結ぶ。

## 2. 貝がらを自由にはりつける



- ①色紙（もしくは写真立てや鏡）に、どのように貝殻を貼り付けるか考える。
- ②貝殻をボンドで貼り付け、持参したマジックなどで絵を描く。

### 注意

- ・種類の違う貝殻は絶対に混ぜない。
- ・鏡の場合は、先に鏡を両面テープで貼り付ける。

## 3. 完成 ※作る作品の完成写真を掲示してください。

時間があれば、作品を見せ合い、感想等を話し合うとよい。

## 4. 掃除、後片付け

- ①白い皿に残った貝殻を透明のボールへ種類ごとに戻す。 **※違う種類の貝は混ぜない！**
- ②道具を整理して片付ける。
- ③ゴミはゴミ袋へ捨てる。
- ④机・椅子を元どおりに戻す。
- ⑤床をモップや掃除機できれいにし、机の上をぞうきんでふく。
- ⑥片付けた道具を教材室の机の上へ戻す。
- ⑦活動で出たゴミは事務室へ持ってくる。